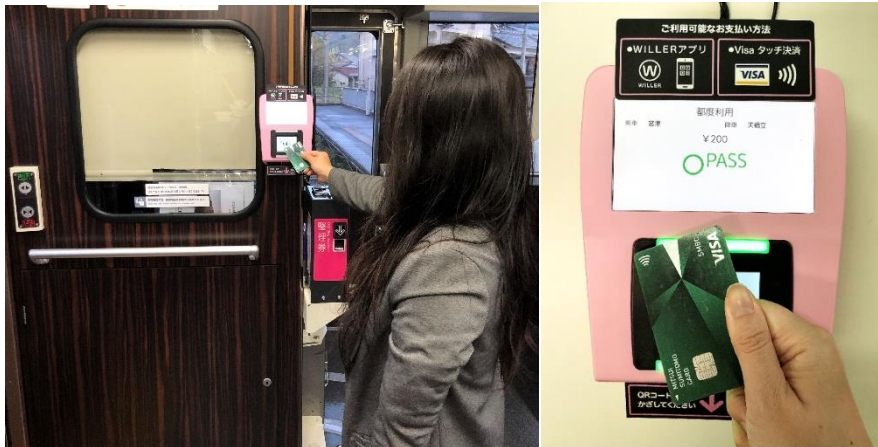


京都丹後鉄道 日本初、鉄道で Visa のタッチ決済を導入 ～タッチするだけで乗車可能！運賃支払いがますます便利に～

京都丹後鉄道(以下「丹鉄」)を運行する WILLER TRAINS 株式会社(本社:京都府宮津市、代表取締役:寒竹聖一)は、Visa のタッチ決済によるキャッシュレス決済サービスを、本日より開始しました。



本サービスは、お客様がお持ちの Visa のタッチ決済対応カード(クレジット・デビット・プリペイド)を駅や列車内に設置された読取端末の Visa タッチリーダーにかざすだけでスピーディーに運賃の支払いが完了し、券売機での切符購入が不要となるため、お客様の利便性が飛躍的に向上します。

本サービスは、以下2点において、日本で初のサービスとなります。

- ① 鉄道で Visa のタッチ決済導入
- ② 公共交通機関で、距離制運賃(固定額ではなく、距離に基づき変動する運賃)の決済が可能

丹鉄では、既に今年2月より、MaaS アプリ「WILLER」を使用した QR コードによるキャッシュレス決済を導入しており、更なる利便性向上を目指し Visa のタッチ決済を導入しました。Visa のタッチ決済は、日本だけでなく多くの国で広く普及しており、日頃より丹鉄をご利用いただいています地元住民の皆様も、日本国内の旅行者や訪日外国人といった知らない土地で切符の購入方法がわかりづらい来街者にとっても、券売機で切符を購入する手間がなく、日常的に利用している決済手段がそのまま利用可能なため、安心して簡単・便利に利用することができ、ストレスなくスムーズにご乗車できます。また、コロナ禍においても、人を介さないキャッシュレス決済であるため、安心してご利用いただけます。

WILLER は今後も、新たなテクノロジーを活用して、シティバリューを上げる場所と移動に変革を起こし、これまで以上に、人と人、人とまちが繋がる豊かなコミュニティを創造することを目指します。

<詳細>

■利用方法

乗車時と降車時に、駅(※¹)や列車内(※²)に設置された読取端末の Visa タッチリーダーに Visa のタッチ決済対応カード(クレジット・デビット・プリペイド)をかざすだけで、運賃の決済が完了します。

利用履歴は、Web サイト(URL:<https://q-move.info/>、運営:QUADRAC 株式会社)から確認可能です。

※¹ 有人駅(福知山、大江、宮津、西舞鶴、丹後由良、栗田、天橋立、与謝野、京丹後大宮、峰山、網野、夕日ヶ木津温泉、小天橋、久美浜、豊岡の計 15 駅)で利用する場合。

※² 無人駅(上記以外)で利用する場合。(「丹後の海」を除く)



▲乗車時



▲降車時(参考動画:<https://youtu.be/oCCN1W0S0Ak>)

■キャッシュレス決済(Visa のタッチ決済・QR コード決済)利用イメージ

<https://youtu.be/UeFMC4Hz26c>

■Visa のタッチ決済について

Visa のタッチ決済は、日本を含む世界約 200 の国と地域で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。利用者に対応のリーダーにタッチ決済対応のカード(クレジット、デビット、プリペイド)やスマートフォンをかざすだけで、サインも暗証番号の入力も不要(※³)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。既に全世界では、Visa の対面取引の 43%がタッチ決済で行われています(※⁴)。(2020 年 9 月末時点)

現在、既にロンドンやシンガポール、ニューヨーク等の公共交通機関で Visa のタッチ決済が利用可能です。さらに、世界約 500 の公共交通機関における導入プロジェクトが進行中であり、今後も急速に増加していく見込みです。また、ロンドンやシンガポールでは 100 を超える国や地域の非接触カードが使われた実績があり、インバウンド観光客にとってストレスない移動を提供しています。

日本では、Visa のタッチ決済対応カードの発行は、2020 年 9 月末時点で 3,230 万枚(※⁵)を超え、ご利用いただける店舗もスーパーやコンビニエンスストア、ファストフードレストラン等をはじめ急速に拡大しており、利用者の利便性ならびに加盟店でのオペレーションの向上に貢献しています。



※³ 一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

※⁴ VisaNet による実績です。

※⁵ Visa の取引先金融機関・発行会社からの報告による実績です。